

水産業の 振興と発展に向けて

参議院議員(全国比例)
元農林水産大臣政務官

食
農山漁村
土地改良は
未来への礎
いしすえ

宮崎まさお

自由民主党参議院比例区支部長
元農林水産省農村振興局地域整備課長

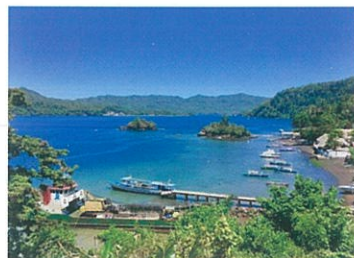
これまで現場を通じて育てていただいた私にとって、地域の課題、現場の課題を解決することが役割と考え、次の項目にこれからもしっかりと取り組んでまいります。

- 1 不漁等の影響から漁業者を守るための「積立ぷらす」など水産関係予算の安定的確保
- 2 漁港・漁場など水産業と漁村を支える基盤整備の推進
- 3 「カッコいい」「稼げる」「革新的」水産業を実現するスマート水産業の展開
- 4 「海業(うみぎょう)」の推進による漁村の活性化
- 5 水産物・水産加工物の積極的な輸出と国内消費の拡大

私が農林水産大臣政務官を務めていた令和4年3月、今後10年を見据えた新しい「水産基本計画」が策定されました。水産日本の復活に向け努力してまいります。

水産
基本計画の
三本柱

- ① 海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施
- ② 増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現
- ③ 地域を支える漁村の活性化の推進



宮崎まさおの政治活動の原点は現場主義

現場主義をモットーとする私は、皆さまの暮らしの場、働く場である漁村、漁港、市場、漁業協同組合などに積極的に足を運んでいます。漁業経営の実情、水産物取引の現況、漁村の生活環境、漁港・漁場の整備状況などについて、現場の皆さまからの生の声を丁寧にお伺いしています。

近年は、特に新型コロナウイルスのまん延やロシアによるウクライナ侵攻が水産業に与える影響を把握し、漁業・水産業の経営継続と元気な漁村の実現のための課題を掘り下げてきました。



令和5年6月10日 東京都豊洲市場



令和4年5月5日 兵庫県坊勢漁港

喫緊の課題を政治の場で発信

コロナによる社会経済活動の停滞は、水産物・水産加工物の国内消費や輸出にマイナスの影響を与えてきました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻により燃油・配合飼料、加工原材料などの価格が高騰し、漁業経営の継続や水産物・水産加工物の安定供給が非常に厳しくなっています。

こうした現場が直面している課題について、皆さまから頂いた切実な声をもとに、参議院農林水産委員会、自民党水産部会、漁港漁場漁村整備促進議員連盟などの政治の場で発言を重ねてきました。



令和元年11月7日 参議院農林水産委員会



令和4年11月22日 財務大臣に予算確保要請(漁港議連)

難局を乗り切る予算を確保

現場の声を政治が受け止め、真に困っている方々を支える事業が予算化されました。

①漁獲変動等に伴う減収を補填する

「**漁業収入安定対策事業（積立ぶらす）**」

380億円 [R4補正], 202億円 [R5当初]

②燃油・配合飼料の価格が一定水準を超えて

上昇した場合に、積立金の原資として漁業者・養殖業者に対して補填金を交付する

「**漁業経営セーフティーネット構築事業**」

330億円 [R4補正], 18億円 [R5当初]

③漁船の導入を緊急的に支援する

「**漁船リース事業・新リース事業**」

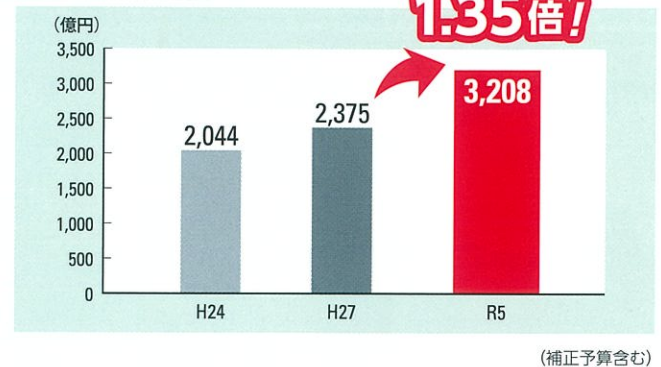
196億円 [R4補正], 30億円 [R5当初]

④水産加工業者に安定的に国産原材料を供給

するための国産原材料の買取り、一時保管等を支援する

「**特定水産物供給平準化事業**」

水産関係予算の推移



○水産関係予算を安定的に確保

2,375億円 [H27] ⇒ **3,208億円** [R5]

(平成27年度比 135%)

予算や制度等に関するご意見
があれば、宮崎まさおにお聞か
せください。



漁業法の改正にあたって現場との連携の重要性を指摘

令和元年11月12日 参議院農林水産委員会

「昨年の漁業法の改正を受け、これからが水産改革の現場での実施に向けて非常に大切な時期。具体的な制度の実施に当たっては、やはり浜の漁業者の皆さんと十分に話し合いを行って理解を得ることが大変重要。」

コロナ対策と減災・防災対策に関する予算確保を要請

令和2年11月18日 自民党水産部会・水産総合調査会合同会議

「1次補正によるコロナ対応の**特定水産物供給平準化事業**は、漁業者が魚価の低迷に対応する上で大きな効果。まだまだ先が見えない状況の中で、**3次補正でもしっかりした予算措置が必要。**

防災・減災についても、3ヶ年間実施してきたが、まだまだ工期が必要との話も現場で聞く。集中的な取組みを行うための予算をしっかりと要求して欲しい。」

長期計画の策定にあたっての新たな視点を主張

令和3年2月5日 自民党漁港漁場漁村整備促進議員連盟総会

「資源管理を本格的にやって行く中での初の長期計画となる。ハード面でもしっかり取組むことが分かるように計画を立てて欲しい。漁場の整備とともに、その後のモニタリングとかデータ収集にも配慮して欲しい。また、ポストコロナをにらんで、漁獲物の輸出であるとか、漁村への人の流れであるとかの交流の視点も大切である。」

水産基盤整備と「積立ぶらす」の予算確保を要請

令和3年8月26日 自民党水産部会・水産総合調査会合同会議

「水産基盤整備事業については、現在検討中の長期計画の方向性とともに、各地で甚大な災害が発生していることも踏まえ、国土強靱化と併せて予算の確保が必要。

積立ぶらすについては、不足することがないように来年度の当初予算に計上すべき。」

今後も、水産業に関する予算確保と 地域の実情に即した制度の見直しに しっかりと取り組んでまいります。



令和4年4月6日 衆議院農林水産委員会において政務官として答弁

私は、令和3年10月から約10か月間、岸田内閣において農林水産大臣政務官を務めました。ちょうど、「水産基本計画」や「漁港漁場整備長期計画」の仕上げる時期でした。

二つの計画の中で、漁村ならではの地域資源の価値や魅力を活かした海業（うみぎょう）の振興を新たに打ち出しました。令和5年には海業振興を進めるため漁港漁場整備法を改正し、漁港の活用を促進する新たな仕組みができました。今後も、浜のにぎわいや雇用と所得を生み出していく新しい取組として積極的に推進してまいります。

宮崎まさおプロフィール

昭和38年12月3日 兵庫県神戸市北区の兼業農家に次男として生まれる
昭和57年 3月 兵庫県立兵庫高等学校卒 テニス部キャプテンとして活躍
昭和62年 3月 神戸大学農学部農業工学科卒
昭和62年 4月 農林水産省入省 以後本省、地方農政局、国営事業所、地方行政、海外勤務等を歴任
平成29年12月 農林水産省農村振興局地域整備課長で退官
令和元年 7月 第25回参議院通常選挙（全国比例）当選
令和3年10月～令和4年8月 農林水産大臣政務官
現在に至る



令和元年8月1日
国会議事堂前
初登院

主な役職 (R5.8現在)

【国会関係】農林水産委員会理事

決算委員会委員

災害対策特別委員会委員

【党関係】参議院自民党副幹事長

政務調査会農林部会副会長

政務調査会水産総合調査会副会長

女性局次長

政務調査会災害対策特別委員会事務局次長

地方創生実行統合本部事務局次長

ほか

所属している議員連盟等

水産政策推進議員協議会

漁港漁場漁村整備促進議員連盟

捕鯨議員連盟

海岸保全整備推進議員連盟

かつお・まぐろ漁業推進議員連盟

海苔養殖振興議員連盟

瀬戸内海再生議員連盟

農林水産高校を応援する会

公共工物品質確保に関する議員連盟

自然災害から国民を守る国会議員の会



令和元年11月3日 鳥取県網代漁港

など約80議連

宮崎雅夫通信・メルマガ等の申込みは、HP又は国会事務所まで

宮崎雅夫後援会

〒105-0004 東京都港区新橋5丁目33-9 グリーンビル3F
TEL：03-6432-0672 FAX：03-3432-8884
Mail：miyazaki_masao_kouenkai@miyazaki-noson.jp

宮崎まさお 検索



公式ホームページ



Facebook



LINE